

開かれた学校づくり基本構想

1 目的

- ・子ども一人一人の生命や能力、個性を尊重する。(子どもに開かれた学校)
- ・職員の英知を集結し、特色ある学校づくりを進める。(職員に開かれた学校)
- ・保護者や地域の人々との交流を図り、地域に信頼される学校づくりを進める。(地域に開かれた学校)

2 具体的な方策

【子どもに開かれた学校にするために】

① 子どもの生命や身体の安全を確保する。

- ・危機管理マニュアルの徹底……………避難訓練等の訓練活動の実施
- ・食物アレルギー対応委員会の実施
- ・安全点検活動の徹底……………毎月10日実施
- ・登下校時の安全確保をめざした日課表の実施……………下校時刻の徹底

② 豊かな人間関係を構築する。

- ・なかよし活動の日常化……………年間計画の実施、各学年に応じた指導
- ・体験学習「鹿野山セカンドスクール」……………発達段階に応じた役割、係活動の指導
- ・学習活動における地域の人々とのふれあい……………主に生活科、総合的な学習の時間での計画的な実施
- ・教育相談活動の充実(学級の日・教育相談週間)……………全児童との面談日の設定

③ 学ぶ楽しさを身につけさせ、確かな学力や個性を育成する。

- ・個の実態に応じた授業の実践……………全児童に対しての個別支援
- ・基礎、基本の学力の定着……………授業及びパワーアップタイムの充実
- ・問題解決場面の設定と主体的な学習の場づくり・教材研究の充実
- ・学級の日による個別学習時間の確保

【職員に開かれた学校にするために】

① ミニ研修会、オープン研修会を実施する。

② 職員の豊かな人間関係を構築する。

- ・会議、委員会、打合せ等への積極的な参加による活性化、効率化
- ・行事等の実施は週報で全校職員が確認
- ・適材適所の校務の分担
- ・職員教育相談の充実
- ・併設こども園の職員との交流

【地域に開かれた学校にするために】

① いつでもどこでも相談を実施する。

- ・保護者教育相談日の設定
- ・個人面談、授業参観、懇談会の設定(各学期)

② 学校支援ボランティアを積極的かつ計画的に活用する。(事前打合せの充実、事後児童の振り返り)

- ・生活科、総合的な学習の時間など、教科、学校行事、クラブ活動等への支援者名簿の作成
- ・公民館、図書館、地域サークルとの連携

③ 地域の方々との交流を積極的に推進する。

- ・学校行事等への参加
- ・谷津公民館事業への子ども及び職員の参加

3 説明責任及び改善策

- ・学校、学年、PTAだより、ホームページ及び保護者会での広報活動。特に学校だよりにおいて、子どもたちの様子を知らせる。
- ・地域学校協働本部、学校評議員会、1000か所ミニ集会、学校開放委員会、PTA運営委員会等での意見交換を行う。